

## 第6回高知県立学校の校名に関する検討委員会 概要

【日時等】平成28年10月20日（木）18:30～19:40 高知共済会館3階「桜」

【出席者】検討委員会委員：西郷会長、時久副会長、池委員、池田委員、稲田委員  
川北委員、（西尾委員欠席）

教育委員会（教育長）、  
教育委員会事務局（7名）

【傍聴者】31名

### 会議の概要

#### ○公募結果について

・事務局から公募結果について説明

（委員）報告だけなので特に意見はない。

（会長）この表だと見にくいですが、県民の皆さんに公募結果を分かりやすく示す意味で、応募数順の表を作成してホームページに掲載することは可能か。

（事務局）検討委員会からの依頼ということであれば、可能。

（会長）応募理由を読むと、皆さんの熱い思いが伝わってくる。読めば読むほどどれも良いと思える。校名候補名を報告する際にも（応募数順の表が）役に立つと考える。

（委員）感想であるが、公募してたくさん応募してもらったことがうれしく思った。新しい学校という期待が込められている。公募しても関心がなければ、応募が出ない。理由もそれぞれ短い言葉でも込められた意味は深い。多くあると絞り込みが大変だが、それぞれの校名候補を検討したい。

#### ○校名決定スケジュールについて

・事務局からスケジュールを説明し、確認。

（会長）校名候補を絞り込む方法を決めることは重大なこと。1回でやるより、次回、絞り込み方法についても学校関係者に意見を聴くことになっており、「何もないところで絞り込み方法について意見を」は、何か具体がないと失礼になる。本日、委員の意見をまとめるのではなく、委員の意見を参考としていただいて、次回、学校関係者にご意見を表明してもらおうのが良いのではないかと考えたがそれで良いか。

→全員了承。

#### ○校名候補の絞り込み方法について

##### 【候補同士の組み合わせ】

（委員）募集要項3（2）の参考にしては、応募された校名候補の中だけで選ぶのか、それとも参考として組み合わせるのか。他県ではどのようにしているのか教えてほしい。

（事務局）先程、説明した他県の24事例中、校名候補を組み合わせで校名を決定している事例が3事例ある。地名と校名候補を組み合わせたもの、地名と（統合校の教育）理念を組み合わせたもの、地名と地域の特色、統合対象校の校名を組み合わせたものなどがある。

（委員）公募された思いを大事にしたいが、私自身応募していないので、最終的に決めていく際には、組み合わせも可能にしておいてもらいたい。

（委員）一つ一つの思いがしっかりと書かれているので、この中から選ぶのがよいのではないか。ここまで多いと思わなかったが。

（委員）同じ意見。これだけの応募から選ぶ責任で戸惑いがある。自分の感覚だけで組み合わせているのは抵抗がある。

（委員）同じく、この中から選んだほうがよい。

(委員) 募集要項を検討した時に、応募が多いか少ないか分からなかった。少ない場合に選ぶのは難しいので、組み合わせがあるとよいと考えた。応募された校名候補を大事にしたい。学校関係者からのご意見ももらえればありがたい。

(会長) この件は、次回に決めることとする。

→全員了承。

#### 【絞り込み時の関係者の関与】

(会長) 第2回の検討委員会で、高吾地域拠点校の学校関係者からは、話し合っただけ絞り込みをしたいという意見があった。これについてはこれで確定してよろしいか。

→全員了承。

(会長) 至急、須崎の両校で話し合っただけの中から多少修正しても構わないので、次回に言ってもらえるか、その前に結論が出れば、事務局にお知らせください。その内容を次回の委員会の前に、検討委員にもお知らせください。

(事務局) そのように対応する。

(会長) 新中高一貫教育校については、第2回の検討委員会で両校の話し合いは難しいという話があったので、この委員会で絞り込むことで良いか。

→全員了承。

#### 【絞り込みの際に何案提出するか】

(会長) ここからは、自由にご意見を。

(委員) 校名候補数が非常に多いので、思いきり絞り込みをかけないと絞りきれない。一人3案又は5案だとあったが、各委員がそれぞれ検討し、事務局が責任を持って集計した形の後、一度絞ってからもう一度絞る2段階でよいと思う。

(会長) 他県の事例では、3案又は5案を委員が出した後の一段階目は、何案まで絞り込んでいるのか。

(事務局) そこまでは他県からの情報を得ていない。

(会長) 次回、何案まで絞るという最終報告数を決めて、その2倍から3倍に絞るとか、ルールを決めるのも一つの方法ではないか。

(委員) 一人3案とか5案とかはもちろん、集計も皆に分かる形。選んだ理由を添えることが大事では。

(会長) 最終的に「誰がどれを選んだか」は見えないほうが望ましい。第3者が立ち会えばよいが、一つの例として、その会議の長が立ち会いをやることもある。事務局が動かしていることにはならないので、中立性を保てる。

(委員) 一人何案かを出し、話し合うのが望ましい。この中から一気に選ぶのは難しい。3案に絞り込んでどうかと今の段階では感じている。

(委員) 3案選ぶのは厳しくないか。

(委員) 厳しい気持ちはあるが、5案出ると何十となる可能性があり、また選ぶのが困難。

(委員) 統合校同士の話し合いについては尊重すべき。まず何案かあげて、その中から何案かを選ぶ2段階で選ぶのがよい。

(委員) 3つは少ないと思うが、5つぐらいはいるのではないか。委員も意見が割れると思う。そこから次の選定に移ればよいと思う。

(委員) 気の重い作業だと思う。3案ないし5案で次回意見を聴いて、その後に結論を出すことになる。

#### 【絞り込みの際の順位づけ】

(会長) 3つを各委員がリストアップし、一人一つに1点ずつとするやり方もあれば、選ぶ立場からすると、3点、2点、1点又は5点、3点、1点と比重をつけるやり方もある。

(委員) 7人いるので、共通する案が出るかもしれないが、比重を付けるのはどうか。

- (会長) 分母が多いのでかなりばらけると思う。集計後に8点、4点、3点、2点、1点と分かれるのか、3点、2点、次に1点が多く並ぶかもしれない。やってみないと分からないが、決めておかないといけない。
- (委員) いずれにしても難しい絞り込みとなる。かなり考えて少なくしないと後の検討が大変になる。3か5としておいて、次回考えるでよいのではないか。  
重さを同じにするより、段階が付いているとよいかと思う。同じ点で並ぶ可能性がある。
- (会長) 今回のことは、(次回に向けてどの案なら) どの場面に対応して、どう対応したらよいかを考えておいてほしい。

### 【報告書の順位づけ】

- (委員) 検討委員会が、順位づけをして報告した場合、教育委員会がそれを優先して考えてくれるのか。
- (事務局) そのままの順位づけで教育委員会が決めるのなら複数の候補を出す意味がないので、「この候補の中から判断してください」ということではないか。順位づけは尊重するが、必ずしもそのとおりにならないこともあると考える。
- (委員) 公募しても、結局は県教委がすべてを決めるということか。
- (事務局) 一つにするか、複数にするかも検討委員会に決めてもらうこととしているので、検討委員会で判断してもらうこととなる。
- (委員) 皆さんもお持ちだろうが、どこか釈然としないところがある。
- (会長) 個人の意見として、1、2、3と順位を付けるなら1番で推薦として一つにしたらよい。1、2、3で3つ出した場合、公募時に「応募多数で選ぶわけではない」としたと同じで予断なく選んでくださいと。
- (事務局) 順位づけして報告する場合、第1推薦したもので決定してもらえるのかという質問であったと思う。3つの校名候補から選んでくださいというメッセージで、1番を重視してと受け止める。もし、「この校名にしてください」というのなら、一つの校名候補を報告してもらえればよい。
- (委員) 検討委員会が1位にしたので、必ず1位の校名にしてではないが、重きをおいてくださいと言いたい。どのくらいの(重きを置く)感じなのか。
- (事務局) 教育委員会としては、「検討委員会で報告する候補数も決めてください」なので、検討委員会にお願いしていることは重たい。
- (委員) 24校の事例でも順位づけは、あまりされていない。あえて順番をつける必要はないのではないか。思いを持って報告するのでよいと考える。
- (委員) 教育委員会の立ち位置を聞いたかった。
- (委員) 次回決めることとしては、資料3の1の「絞り込み方法」は決める。2の「報告数」はやってみないと決められないところもある。どのくらいの数に絞り込むかによって変わらと思う。どこまでを決めるか？
- (会長) 最終的に報告する数を決め、3つなら2倍はいる。絞り込めるように、10を目処にしても結果、20になるかもしれない。委員の考えが違わなければ5つになる可能性もある。やってみないとわからない。
- (委員) 県教委に報告する数は、第1段階をやってみてからということか。
- (会長) 3つにすると決め込まないで柔軟性をもってやる必要があると考える。
- (委員) 次回に報告数まで決めておくのか。
- (会長) 最終が見えないと決められない。
- (委員) 1段階で15あったとしても、実際、議論しないと分からない。
- (会長) 目安がないと円滑に集約できない。
- (委員) かつちりした数は難しい。1段階で多いとどうか。3つ以内でも理由が必要。
- (会長) 変数の多いものを1回でやろうとしているので、決めることは決めて、数は柔軟性を持たせる。自分が推薦する理由を説明しないと単なる数合わせになる。最後の絞り込みの段階で、理由を表明してもらえればよい。